

平成29年の茨城県海面における漁獲量について

1. 茨城県の海面漁業漁獲量は“全国第3位！”

全国の漁業・養殖業生産統計年報は、農林水産省の統計部で集計しており、毎年その結果が公表されています。

平成29年の統計値は、平成30年4月26日に第一報（速報値：百トン単位）として公表されました。全国の海面漁業漁獲量は、325.8万トンで、マイワシが増加したものの、他の魚種が減少したことから、前年に比べて5.9千トン減少しました。

都道府県別の海面漁業漁獲量のうち、茨城県の漁獲量は29.5万トン（全国の9.1%）で、マイワシの増加により、前年に比べて約5万トン増加しました（図1）。茨城県の全国順位は前年と同じ“第3位”でした。第1位は北海道が他県を大きく上回り73.9万トン（全国の22.7%）、第2位はまき網漁業の盛んな長崎県、第4位はかつお・まぐろ漁業やまき網漁業が盛んな静岡県、第5位は三重県、第6位は宮城県、第7位は島根県、第8位は千葉県、第9位は青森県、第10位は宮崎県でした。

茨城県の魚種別順位は、第1位がマイワシで15.4万トン（52%）、第2位がサバ類で12.6万トン（42.5%）、第3位がシラスで0.38万トン（1.3%）、第4位はカツオ類で0.2万トン（0.7%）、第5位はマアジで0.18万トン（0.6%）、第7位はイカ類で0.15万トン（0.5%）、第8位はブリ類で0.11万トン（0.4%）となっており、主にまき網漁業で漁獲されるマイワシとサバ類の2魚種で全体の9割以上を占める結果となりました（図2）。

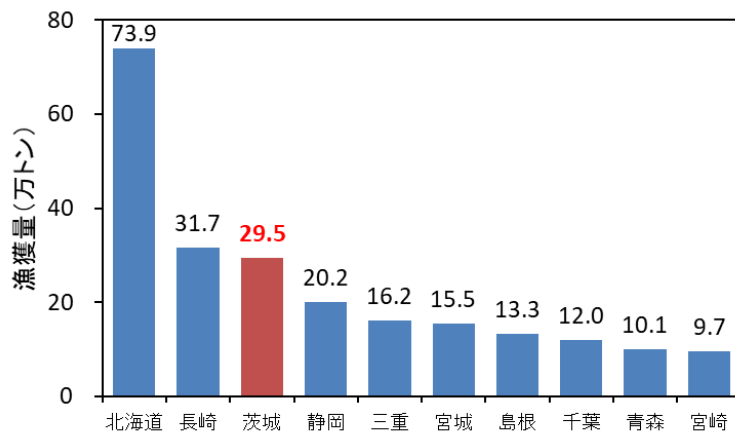


図1 平成29年海面漁業漁獲量（属人）

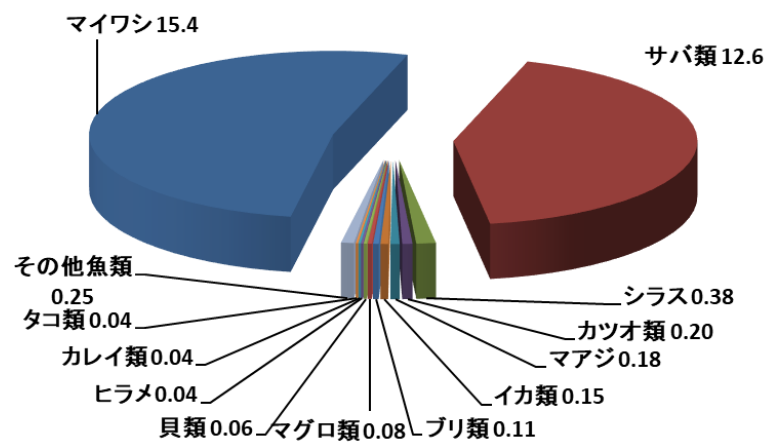


図2 平成29年茨城県魚種別漁獲量（属人，万トン）

2. 茨城県のマイワシとサバ類の漁獲量は“全国第1位！”

魚種別の全国順位を他の都道府県と比較すると、マイワシは第2位の三重県の約3倍で“全国第1位”（図3）、サバ類は第2位の長崎県を2.6万トン上回って“全国第1位”（図4）となっており、この2魚種で“全国第1位”となりました。マイワシとサバ類の漁獲量の大部分は、大中型まき網漁業によるものであり、県内では14船団が周年に渡って房総～三陸海域を移動しながら操業しています。近年は、太平洋側のマサバ・マイワシ資源が回復傾向にあるのと同時に、一時途絶えていた道東沖の漁場が復活してきており、漁獲量も年々増加する傾向で、本県8船団も8～10月の3ヶ月間操業しています。

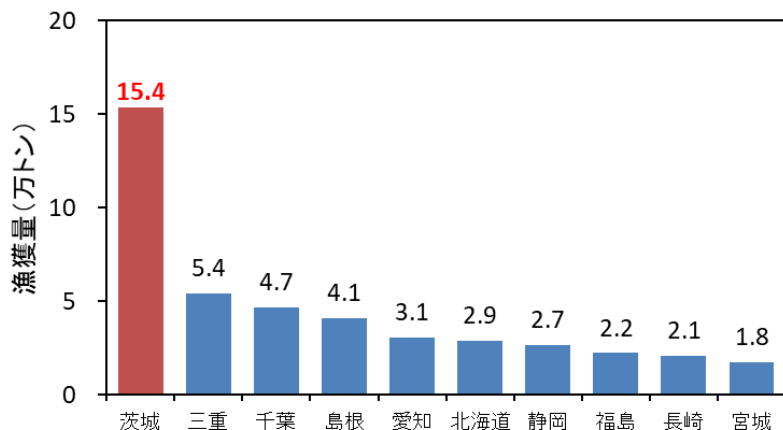


図3 平成29年マイワシ漁獲量（属人）

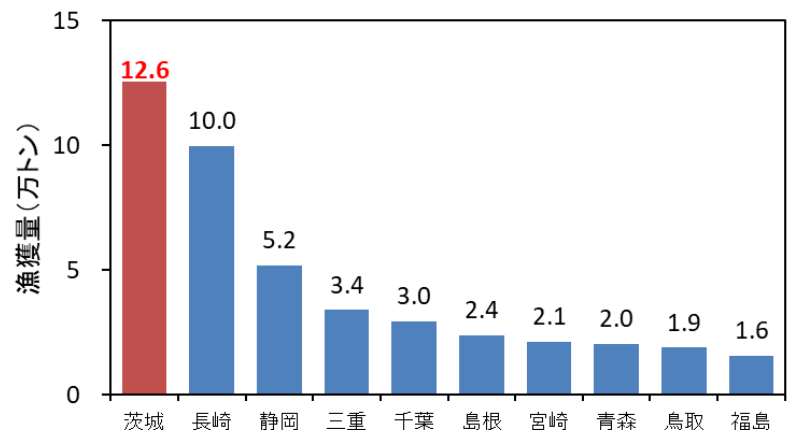


図4 平成29年サバ類漁獲量（属人）

3. その他沿岸漁業魚種の漁獲量順位

沿岸漁業で漁獲されている“シラス”の漁獲量は3.8千トンで、全国第4位でした（第1位は兵庫県で9.3千トン、第2位は静岡県で5.2千トン、第3位は愛知県で5千トン）。また、県の魚である“ヒラメ”の漁獲量は4百トンで、千葉県と同数で全国第4位でした（第1位は青森県と宮城県が同数で9百トン、第3位は北海道で8百トン）。